令和4年度 第3回 消費生活eモニターアンケート集計

1 調査趣旨

◎消費生活とごみの減量・リサイクルについて

川崎市では、平成 25 年9月からプラスチック製容器包装の分別収集の全市拡大と普通ごみの収集回数を週2回に変更した結果、市の人口が 150 万人を突破した状況の中においても、平成 29、30 年度、令和元年度と3年連続で、1人1日あたりのごみ排出量が、政令市最少となりました。しかし、令和2年度は微増となりました。

改めて地球環境にやさしい持続可能なまちの実現をめざして、エコ暮らしを実践し、さらに3R(アンケート設問5参照)を推進することが求められています。

そこで、今回は、川崎市のごみの減量・リサイクルの取組を知っていただく とともに、ごみに関する消費者の実態と意識を調査し、今後の行政の参考資料 とするためにアンケートを実施いたします。

◎地球温暖化対策について

川崎市では、2050年の脱炭素社会の実現に向けて、市民・事業者・行政が一丸となって取組を加速していくために、脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定し、二酸化炭素(CO2)の削減や地球温暖化防止の取組を進めています。

今回は、脱炭素社会の実現に向けて、温暖化等に関する意識や環境配慮行動の取組を調査し、今後の施策の参考とするため、アンケート調査を実施いたします。

2 調査事項 「1.消費生活とごみの減量・リサイクルについて」

「2. 地球温暖化対策について」

3 調査対象 令和3年度消費生活eモニター 46名

(1. 回答者数37名 · 回収率80%、

2. 回答者数36名 • 回収率78%)

4 調査方法 ホホームページの回答フォームによる

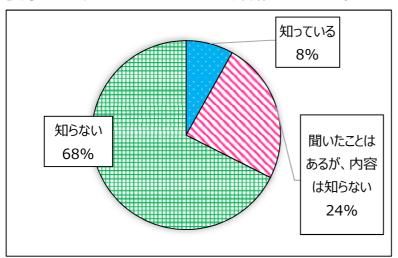
- ●集計結果について、四捨五入の結果や複数回答の集計によるため、合計が100%とならない 場合があります。
- ●調査結果中の「回答者数」は「調査対象者」 から「未提出者」を除いた数としました。
- ●自由回答、その他意見は一部抜粋。



1. 消費生活とごみの減量・リサイクルについて

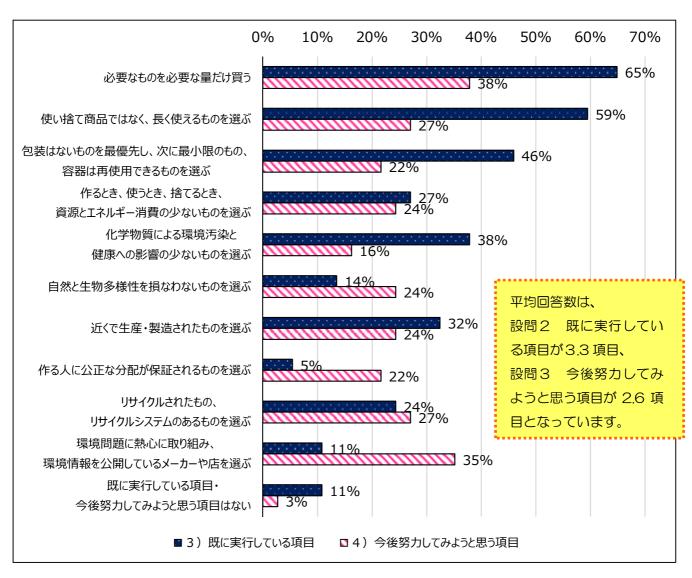
≪グリーンコンシューマーとその行動について≫

設問1 グリーンコンシューマーを御存知でしたか。



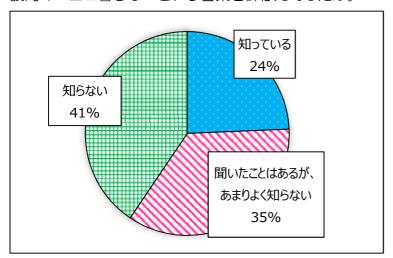
"グリーンコンシューマー"とは、環境に配慮した行動をする消費者のことです。

設問2、3 次のグリーンコンシューマー10 原則(グリーンコンシューマー全国ネットワーク著「グリーンコンシューマーになる買い物ガイド」より)の中で、『既に実行している項目』『今は実行していないが、今後努力してみようと思う項目』があれば、お選びください。(複数回答可)



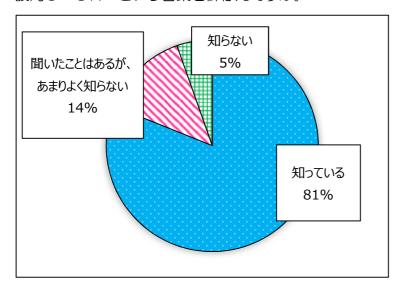
≪「ごみ減量 未来へつなげるエコ暮らしプラン (=川崎市一般廃棄物処理基本計画)」に関する 取組について≫

設問4"エコ暮らし"という言葉を御存知でしたか。



"エコ暮らし"とは、ごみの発生抑制に資する生活や活動、節電などの省エネ行動、 庭や花壇の緑化の推進など、日々の暮らし の中で、環境に配慮した行動を積み重ねていくことです。

設問5 "3R"という言葉を御存知ですか。



"3R"とは、

Reduce (リデュース) ⇒発生・排出抑制:物を大切に使い、ごみを減らすこと。 Reuse (リユース) ⇒再使用:使える物は繰り返し使うこと。

Recycle (リサイクル) ⇒再生利用: ごみを資源として再び利用すること。

の言葉の頭文字の3つのRのことです。

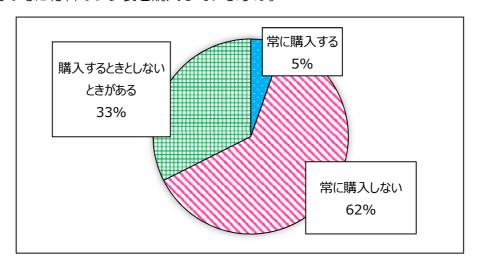
かわさき 3R 推進キャラクター。 生まれも育ちも川崎で、3R の 大切さを伝える妖精です。 耳と体の3 つの R で「3R」を 表しています。



かわるん

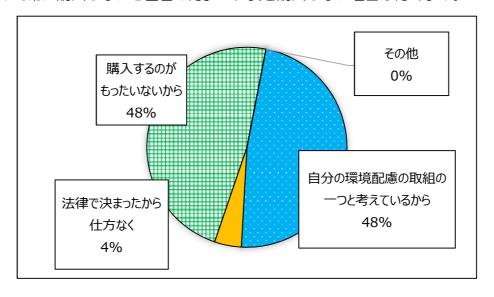
≪レジ袋の削減やマイバッグの使用等の取組について≫

設問6 買い物の時に有料のレジ袋を購入していますか。

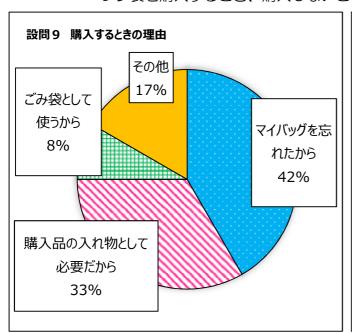


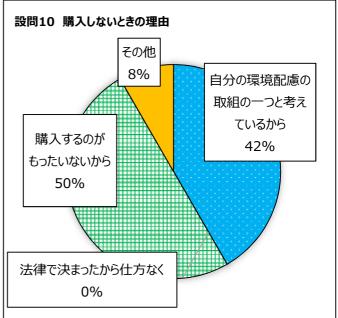
- 設問7【設問6で常に購入すると回答の方】レジ袋を購入する理由は何ですか。
 - ⇒「常に購入する」と回答した方は2名で、その理由は「購入品の入れ物として必要だから」、 「ごみ袋として使うから」でした。

設問8【設問6で常に購入しないと回答の方】レジ袋を購入しない理由は何ですか。



設問9、10【設問6で購入するときとしないときがあると回答の方】 レジ袋を購入するとき、購入しないときの理由は何ですか。

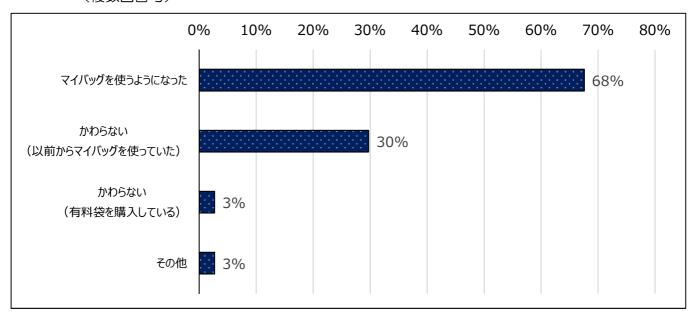




その他の内容

- ■購入するとき
- マイバッグの容量が足りず購入品の入れ物として。また、ごみ袋の不足を補うため。
- 購入品(お弁当やお惣菜)の液漏れが心配な時に購入する。
- ■購入しないとき
- マイバックを持っているときは購入しない。

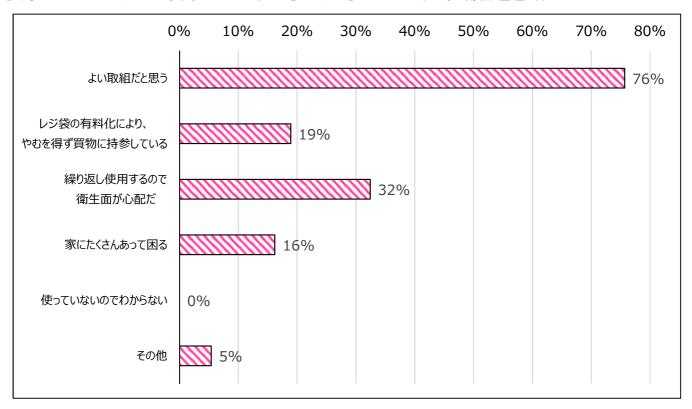
設問11 レジ袋の有料化(令和2年7月1日)をきっかけに、行動に変化はありましたか。 (複数回答可)



その他の内容

・以前は、漫然とレジ袋を使用していたが、有料化をきっかけにケースバイケースで判断するようになり、 結果的にレジ袋の利用を減らすことができた。

設問12 マイバッグの使用について、お考えをおきかせください。(複数回答可)



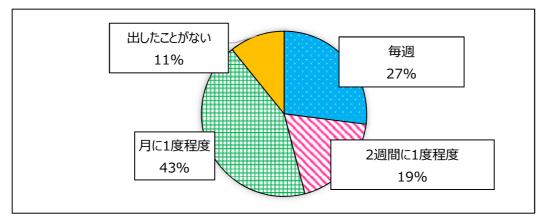
その他の内容

- ・買い物の仕方が変化していく中で(明治・大正・昭和の時代はマイ籠が一家に1つあったはず)、後 先を考えずに便利さを追求した結果、無駄な費用を費やし環境破壊をしてきたのが現実。日本人の生 活の在り方を考える上でもっと温故知新に学ぶべき。
- 良い取り組みだと思うが、一人暮らしだと正直ゴミ出しに買い物袋が丁度よく結局購入が必要。

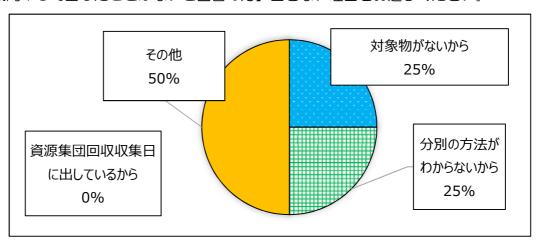


≪「ミックスペーパー」と「プラスチック製容器包装」の分別収集について≫

設問13 ミックスペーパーをどのくらいの頻度で出していますか。



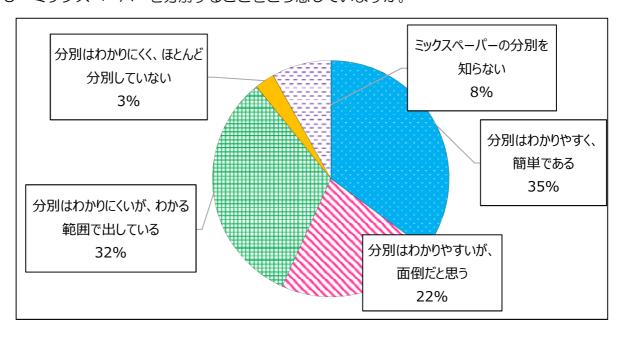
設問14【設問13で出したことがないと回答の方】出さない理由をお選びください。



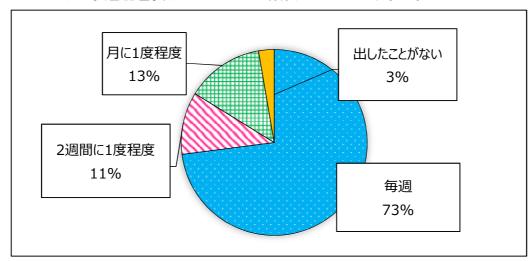
その他の内容

- ・ミックスペーパーの出し方(段ボールの箱に入れてはダメとか新聞はダメとか雑誌はダメとか)に制約が多いため、子供会の廃品回収に出している。
- マンションのごみにまとめて出している。

設問15 ミックスペーパーを分別することをどう感じていますか。

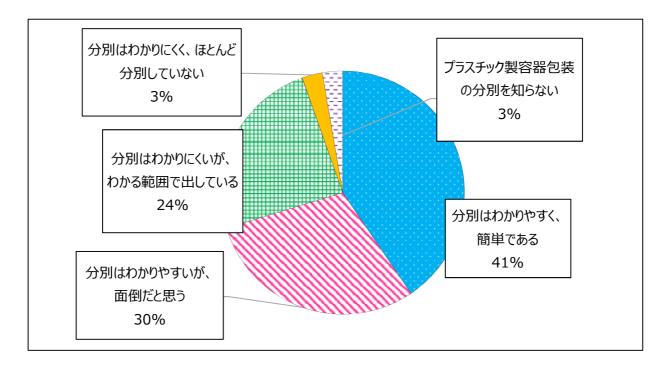


設問16 プラスチック製容器包装をどのくらいの頻度で出していますか。



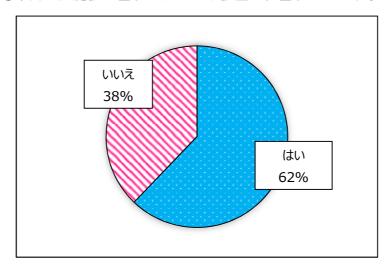
設問 17 【設問 1 6 で出したことがないと回答の方】出さない理由をお選びください。 ⇒「出したことがない」と回答した方は 1 名で、その理由は「分別の方法がわからないから」でした。

設問18 プラスチック製容器包装を分別することをどう感じていますか。

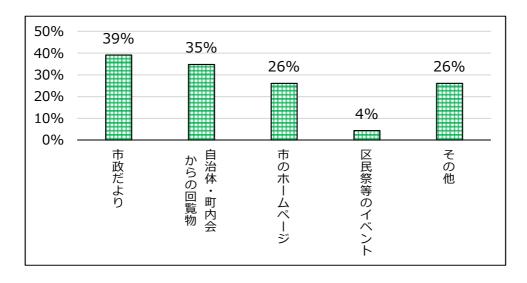


≪拠点回収事業について≫

設問19 川崎市では、拠点回収事業として、小型家電・布類・牛乳パック・蛍光管・インクカートリッジを区役所等市内公共施設に回収ボックスを設置し、回収していますが、御存知ですか。



設問20【設問19ではいと回答の方】拠点回収事業についてどこでお知りになりましたか? (複数回答可)



その他の内容

- 電気屋に置いてあるのを見た。
- 市役所に行った時、チラシや回収ボックス等を見た。
- メールで市に問い合わせをした。
- ・牛乳パック、インクカートリッジ、小型家電については知っているが、その他の広報情報は見聞きしたことがない。役所の中だけで制度が留まっているように思える。各種制度は末端の市民まで伝わり、分かりやすく理解されて初めて行動に繋がるのではないか。

設問21【設問19でいいえと回答の方】現在、拠点回収場所を次のとおり設置しています。

区役所、支所、出張所、生活環境事業所、ヨネッティー堤根・王禅寺、橋リサイクルコミュニティセンター、かわさきエコ暮らし未来館・王禅寺エコ暮らし環境館、CC かわさき交流コーナー(高津市民館内) ※品目によっては、設置していないものもあり

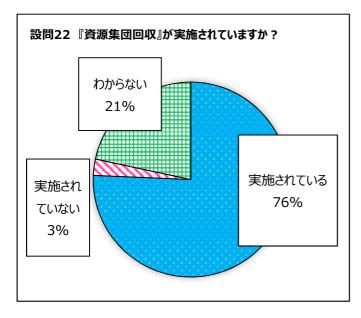
今後新たに公共施設に設置する場合、どこに設置するとよいと思いますか。

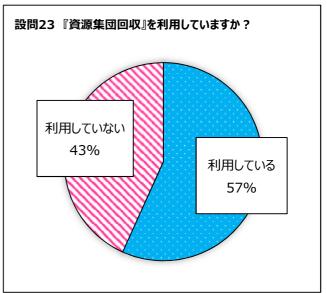
- ★公共施設···等々力陸上競技場
- ★公共施設以外…商業施設、コンビニ、スーパーマーケット、銀行、郵便局、駅、町内のリサイクル拠点、購入した店舗

(日常的によく利用し、数が多い施設、人目につきやすい場所に設置されれば便利との意見が多くありました。また、回収に伴う作業にNPO等の協力を得て、福祉的雇用や優しい雇用を生み出したらどうかという意見もありました。)

≪資源集団回収について≫

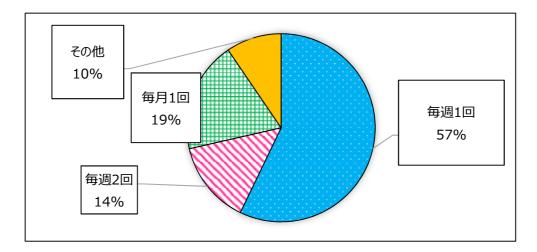
- 設問22 お住まいの地域では『資源集団回収』が実施されていますか。
- 設問23 地域で行われている『資源集団回収』を利用していますか。





『資源集団回収』とは、町内会や自治会、PTA等地域の市民で組織される団体が、回収日時・回収場所を決め、新聞・雑誌・段ボール等の資源化物を自主的に回収し、回収業者に引き渡す活動です。

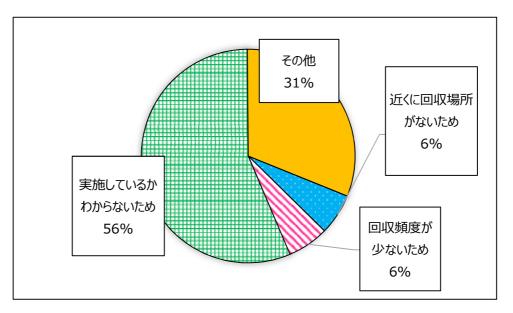
設問24【設問23で利用していると回答の方】お住まいの地域の回収頻度を教えてください。



その他の内容

- ・マンション管理組合、町内会、小学校、中学校など、複数の団体がそれぞれ月1回~数回実施しており、 全体でみると毎週の回収となっている。
- 毎月2回

設問25【設問23で利用していないと回答の方】利用していない理由を教えてください。



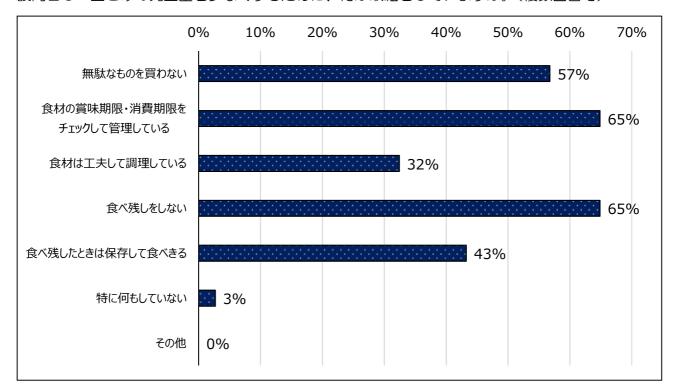
その他の内容

・マンションのごみ集積所に出している。

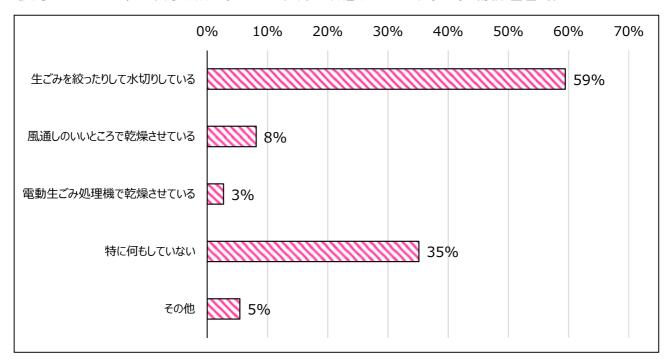


≪生ごみについて≫

設問26 生ごみの発生量を少なくするために、何か取組をしていますか。(複数回答可)



設問27 生ごみの水分を減らすために、何か取組をしていますか。(複数回答可)

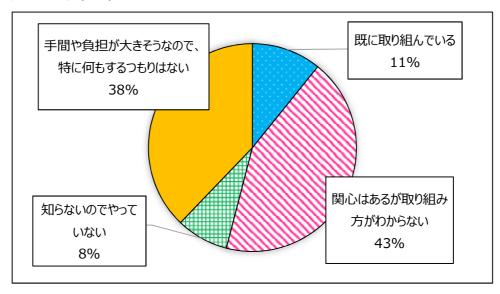


その他の内容

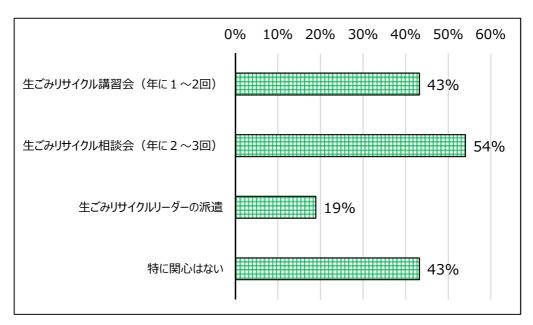
- ・圃場(ほじょう/農作物を栽培する場所)で利用できる生ゴミの一部(例=卵の殻など)は利用している。
- ディスポーザーで処理している。

生ごみの80~90%は水分で、この水分を減らすことで臭いの問題などを軽減でき、運搬に伴う燃料の消費量を減らすことができると言われています。

設問28 生ごみをごみとして出さない取組として、生ごみ処理機やコンポストによる堆肥化のリサイクルをしていますか。



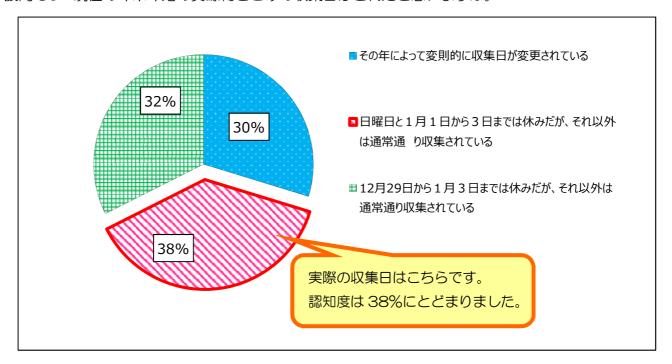
設問29 生ごみリサイクルの手法についての紹介やアドバイス等を行う取組で、受けてみたいと思う ものを教えてください。 (複数回答可)





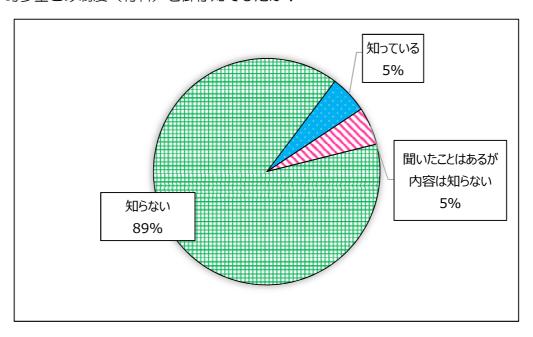
≪年末年始の資源物とごみの収集日の認知度について≫

設問30 現在の年末年始の資源物とごみの収集日はどれだと思いますか。



≪一時多量ごみ制度について≫

設問31 一時多量ごみ制度(有料)を御存知でしたか?



令和2年7月より、一般家庭での引越しや遺品整理などで出た多量のごみについて、市の許可を 得た事業者を利用して市民が有料で回収を依頼できる「一時多量ごみ制度」を開始しています。

≪消費生活とごみの減量・リサイクル全般について≫

設問32 資源を大切にし、環境に極力負担をかけない生活スタイルにしていくことについての御意見 や決意など、御自由に御記入ください。

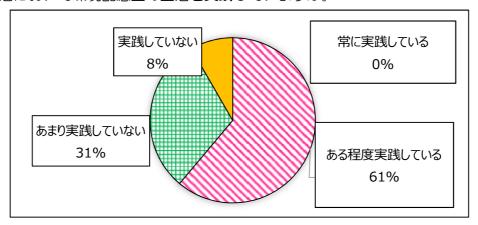
≪自由回答≫

- フリーマーケットアプリ等の CtoC 企業が活発になっていけば、解決はできなくてもゴミを減らすことに繋がると思う。
- 講習会等への参加となると、まとまった時間が必要になるので、生ゴミの活用方法などが調べられるアプリや紙媒体があるといいと思う。
- •「グリーンコンシューマー10原則」をあまり実行できていないと気づき、努力不足を痛感した。 今後は、極力環境負荷の少ない行動を実践していこうと思う。「簡易包装の商品が少ない」「生産~ 廃棄の資源消費量が不明」「生産者への公正な分配に関する情報がない」等の場合もあり、事業者 の情報開示や行政の啓発も重要と感じる。
- ・最近は、物価の上昇等により消費活動自体が困窮している状態なので、環境問題よりも、安い物を優先して選びがちな状況だと思う。一人ひとりの生活の安定が保障される世の中にならないと、厳しいのではないか。未就学児の子供が2人いるので、豊かな地球を未来へ残すためにも、エコバッグ持参、ごみの分別の徹底は行うようにしている。
- ・スーパー、コンビニ等で購入したものをリサイクル、リユースしてくれる回収システムを法制化したらどうか。魚や肉等に使うトレイも減らす工夫が必要だと思う。
- 粗大ゴミ収集金額が高額だと思う。無料回収車が近所に回って来る日を作ってほしい。
- マンションのベランダで生ごみのリサイクル、コンポストのようなことは可能なのか知りたい。
- •「必要な物」と「欲しい物」の区別、「捨てる物」と「購入する物」のバランスを見極め、生活全般の無駄を減らす事が、無理をせずに「地球環境の負荷を減らす」事に繋がると思う。
- ・ゴミに対する意識は、一人暮らしの若い世代の人にも周知徹底が必要だと思う。
- 廃棄物減量指導員をしているが、マンションのゴミの分別が出来てない人が散見される。その度に、注意喚起の貼り紙をしているが、効果は大きくない。
- 購入時に廃却費込みの価格で販売を義務化すれば、不法投棄が減るのではないか。
- 制度の仕組みが複雑過ぎて分かり難い面を感じる。市と市民が一体になった行動があって始めて効果が発揮されるのではないか。
- 規格外の野菜、果物等をもっと多くのスーパーで扱った方が良いのではないか。
- 1 週間にでるプラゴミの量が思ったより多い。もう少し薄手の包装にする、必要ない物までビニール袋に入れないよう啓蒙する、販売時の包装を簡略化できないか。
- ・シャンプーボトル等、洗って再使用するより、買った方が安い場合は、労力の少ない方を選んでしまう。 自分に危機感が無いと思う。
- ・市で沢山の取組みをしていることを知ったので、自分が取組んでいることをバージョンアップさせて行こうと思った。
- 最近【服の交換会】というイベント参加した。自分の不要な服(人にあげられる状態のもの)を持参し、持参した着数を持ち帰れるというもので、お金がかからず、いい取り組みだと思う。

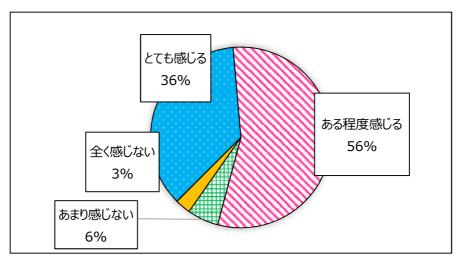
2. 地球温暖化対策について

≪日常生活における意識について≫

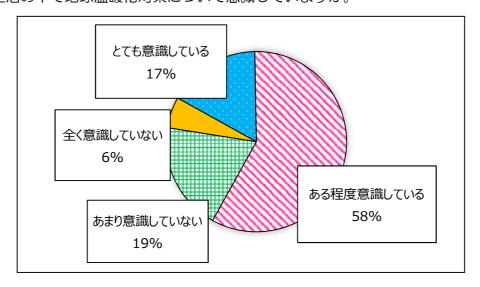
設問1 日常生活において環境配慮型の生活を実践していますか。



- 設問2 【設問1で実践していないと回答の方】実践していない理由は何ですか。
 ⇒「実践していない」と回答した方は3名で、その理由は「何をしていいかわからない」
 でした。
- 設問3 昨今の地球温暖化の進行について危機感を感じていますか。



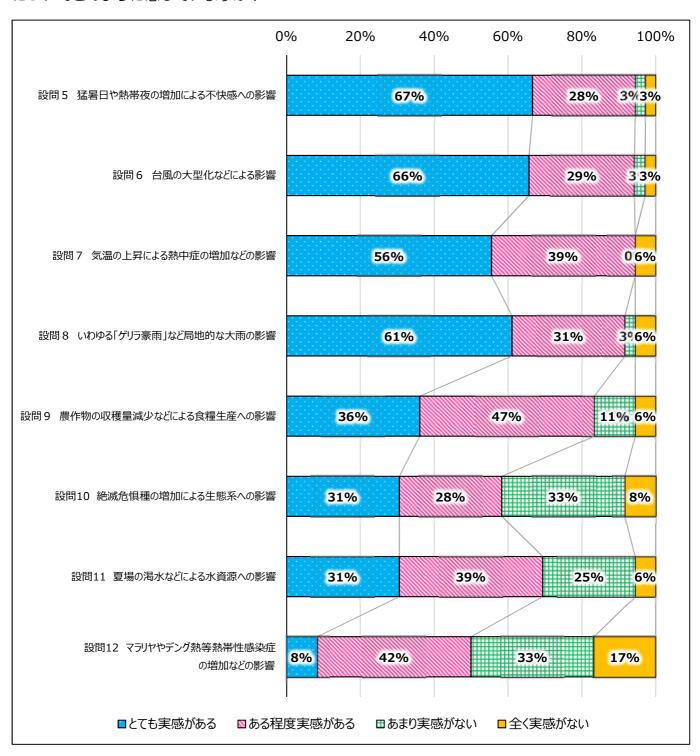
設問4 日常生活の中で地球温暖化対策について意識していますか。



≪地球温暖化による気候変動の影響(猛暑日や局地的大雨の増加など)について≫

設問5~12 次のこと

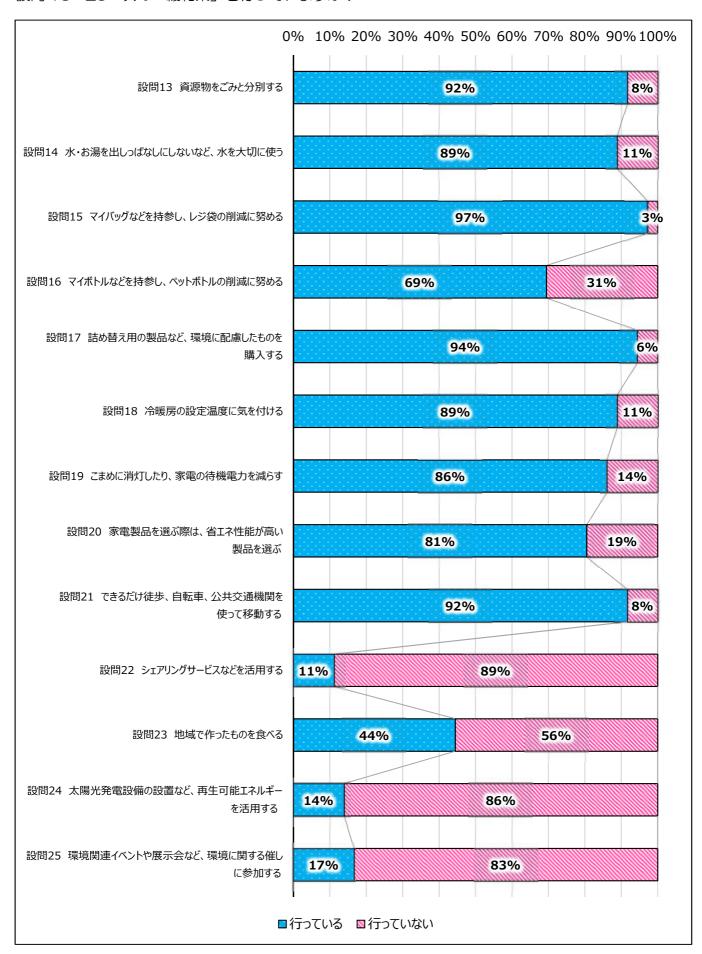
についてどのように感じていますか?





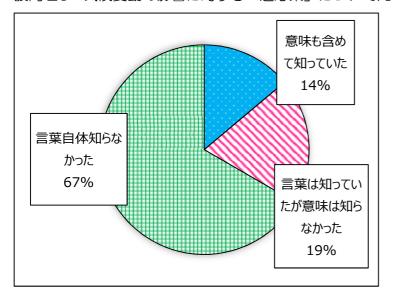
≪個人でできる「緩和策」について≫

設問 13~25 次の「緩和策」を行っていますか?



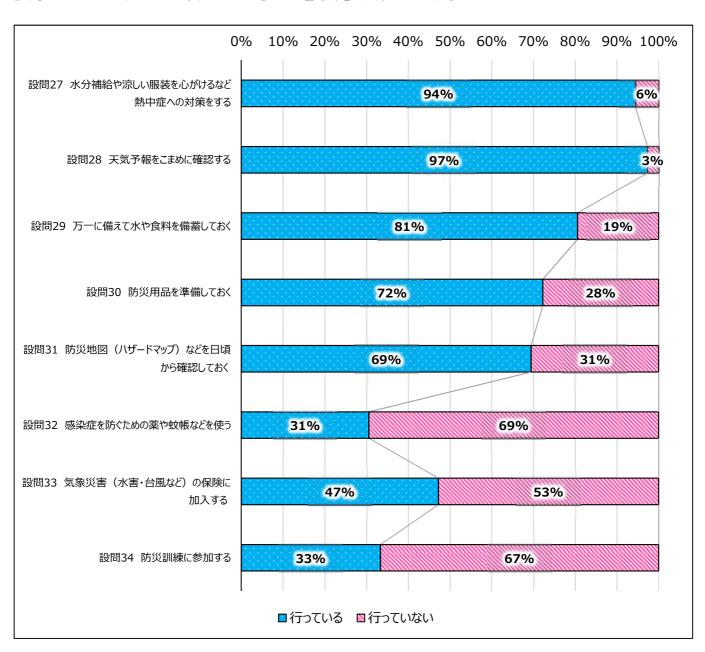
≪「適応策」について≫

設問26 気候変動の影響に対する「適応策」について知っていましたか。



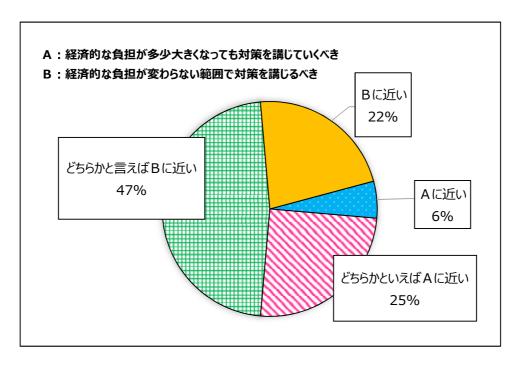
「適応策」とは、「緩和策」に対して、 既に生じている気候変動の影響や将来予 測される気候変動の影響を軽減するため の対策(災害時の備え、治水対策、熱中 症対策など)のことをいいます。

設問27~34 次のような個人でできる「適応策」を行っていますか?

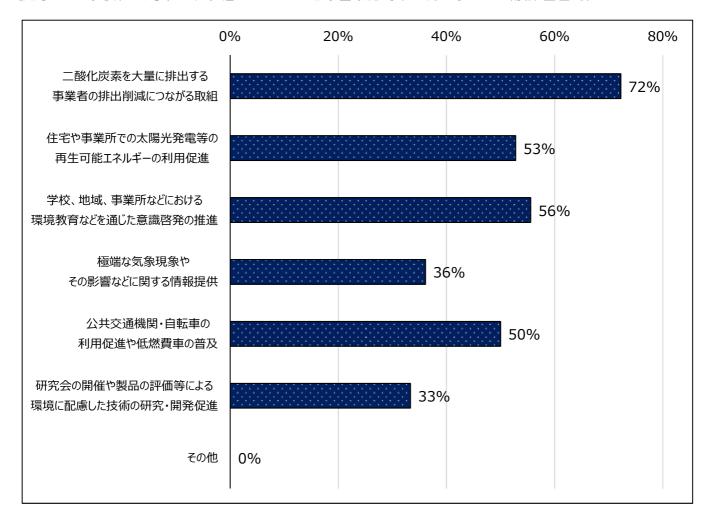


≪川崎市の地球温暖化対策について≫

設問 35 川崎市が取り組む地球温暖化対策について、次のAとBの考え方ではどちらの方があなたの お考えに近いですか。最も当てはまるものを1つだけ選んでください。

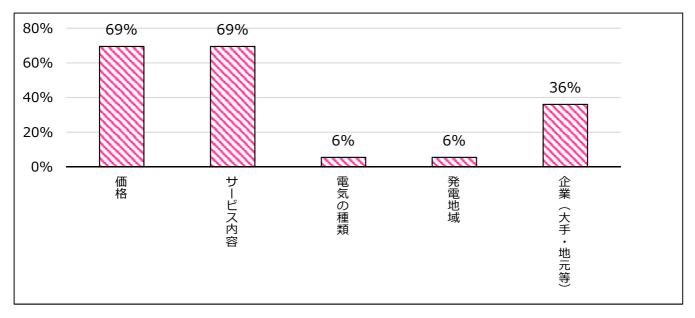


設問36 今後、川崎市に取り組んでほしい地球温暖化対策は何ですか? (複数回答可)



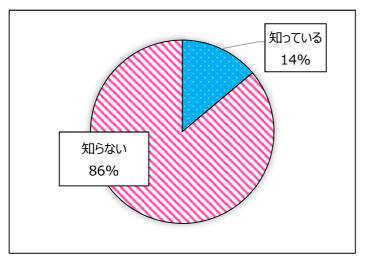
≪電力会社の選定理由について≫

設問37 平成28年4月から、一般家庭等すべての需要家が電力会社を選べるようになりましたが、 電力会社を選ぶ際に何を重視しますか。(複数回答可)



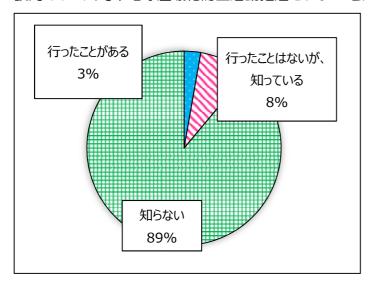
≪川崎市の取組や施設について≫

設問38 脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみぞのくち」を知っていますか?



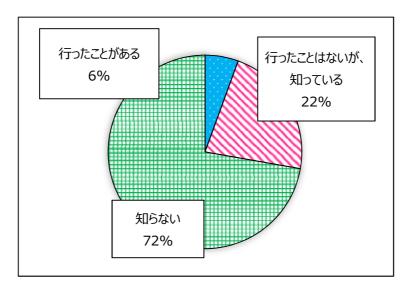
川崎市では、高津区溝口周辺地域を脱炭素 モデル地区「脱炭素アクションみぞのく ち」に設定し、脱炭素化に資する身近な取 組や先進的な取組を集中的に実施すること で、市民一人ひとりの環境配慮型のライフ スタイルの行動変容を促し、脱炭素社会の 実現を目指しています。

設問39 川崎市地球温暖化防止活動推進センターを知っていますか?

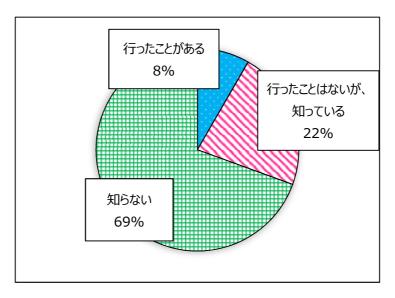


川崎市では、川崎市地球温暖化防止活動推進センターを指定し、地球温暖化防止対策の普及啓発を推進しています。当センターでは、高津市民会館内に設けた情報発信拠点「CCかわさき交流コーナー」を運営し、地球温暖化防止対策に関する取組の相談・パネル展示・講座の開催等を行っています。

設問 40 川崎市内には、浮島町と扇島に合計出力約2万kwの大規模太陽光発電所(メガソーラー)があります。大規模太陽光発電所(メガソーラー)を知っていますか。



設問41 かわさきエコ暮らし未来館を知っていますか?



浮島町にはメガソーラーを始めとした再生可能エネルギーや、地球温暖化、資源循環について 体験型の展示で学べる環境学習施設「かわさきエコ暮らし未来館」があります。



≪地球温暖化対策全般について≫

設問 42 地球温暖化対策について、御自由に御記入ください。

≪自由回答≫

- 昨年環境省の脱炭素のモニターを引き受けてから、意識レベルが上がった。
- ・地球温暖化というと、未だにどこか遠い世界の話と考えがちだが、設問5~12をみると日常生活への影響が甚大だと気づかされる。緩和策・適応策共にまだまだ取組める余地があると認識した。 川崎市には地球温暖化の対策を財源や個人負担に配慮しながら推進していただきたい。
- 地球温暖化対策は様々な手法がある。その中で個人が出来ることは出来るだけ実行したと思う。 個人レベルで出来ることをもっと PR してほしい。
- 異常気象対策と地球温暖化対策は分けて議論されるべきだと思う。後者は環境保護問題だが、前者は災害対策であり、直接的な人命保護となる。特に猛暑日の対策は重要だと思う。本年度は外気温が高すぎたために空調設備が機能しなくなるという事象が散見された。高齢者や小児はそれだけでも生命の危機であり早急な対応が求められる。
- 二酸化炭素削減策としては緑化対策も重要だと思う。川崎市で地球温暖化を食い止めるための身近 な行動や対策を教えてもらえるセミナー等を実施してほしい。
- 市内の電力消費が多い企業で実際に電力削減を要請する、達成できたら法人税を優遇する等、効果がありそうなことができないか。
- ・ガソリン自動車より、電気自動車の方が優しい、と言うのは、本当にそうなのか疑っている。電気を作る時に石油製品を使うし、電気設備を作るには相当なエネルギーがいる。送電中に相当の電気ロスがあると聞く。そのあたりの比較を聞いてみたい。
- 他人事と捉えている人が多数に思える。職場のトイレの便座は真夏でも暖かく、設置業者でなければ調整出来ない機種。暑い時期はその階のトイレの使用者は僅かだった。
- ・学校教育で、若い世代の中では当たり前の価値観になれば良いと思う。
- エコ暮らし未来館等の施設について市政だより等で紹介してほしい。
- より効果的な節電方法等、普通の家庭で出来る内容を、地域の新聞や川崎市のホームページで詳しくわかりやすく教えてほしい。
- 個人のできる事から取組む必要はあるが、大手企業や公共施設の姿勢が大事だと思う。
- ・川崎市が取組んでいることが、沢山あることに驚いた。また、自分で出来ることが、まだまだあると思い知らされた。これからはもっと地球温暖化対策についても自分の問題として受け止め、情報収集し、実践していきたい。
- 最近は家の近くにシェアサイクルが設置されており、利用している人をよく見かける。自転車を使 うことは、地球温暖化防止になり、環境にも経済的にも優しい良い制度だと思う。駅前に無いこと もあるので、もっと設置場所を増やして欲しい。

